

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成17年 6月23日 作成
平成20年 7月17日 更新

BOX No.137004

車両情報

ホンダ ステップワゴン

平成17年5月～

RG#系

1/3ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. 多重通信用ドアロックリレー (EP074)

❶ 注意事項：イモビライザーについて

- ・エンジンイモビライザーシステムが、全車標準装着されています。
- ・エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-2イモビ対応ユニット（FOH02）を使用します。
- ・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

❶ 注意事項：スマートキー付き車のみ

- ・スマートカード付き車は、エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合には、必ずエンジン进行してから乗車してください。
- …①エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める。又は②ドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める
- ・エンジンを止めずに乗車して、スマートキーのノブをONすると、走行中に車両のセキュリティーインジケータ（キーの形をした緑色のLED）等が常に点滅したままになります。

❶ 運転席側カバークラスの外し方

- ① ロアカバーを外す。
 - ・ネジ1本を外す。
 - ・ロアカバーを手前に引っ張って、右側から外す。左上のフックは、最後に破損しないように注意して外す。
- ② コラムカバーを外す。（下側からネジ3本）
- ③ 右サイドステップのカバーを外す。
- ④ 右サイドカバーを外す。

コラムカバー内下側
キーシリンダ直付け

専用ハーネス
H116
VH116

❶ ドアロック/アンロックの取り付け、及び純正セキュリティアラームの対応については、2/3ページを参照してください。

❶ CN2のL端子（茶）は、室内に接続場所が無いため配線はせずに、オート検出にて使用してください。

A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

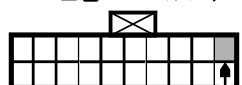
※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色

❶ 特有の注意事項（ドア検出配線について）

※セキュリティー機能・オートロック機能を使用する場合のドア検出配線（紫）の接続方法については、必ず3/3ページで指示したとおりに行ってください。

❶ IHCC付き、NAVI付き車
コラムカバー内上側
白色20Pカブラ



止めネジ等



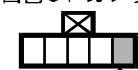
ホーン(緑)
赤

❶ IHCC無し、NAVI付き車
コラムカバー内上側
白色13Pカブラ



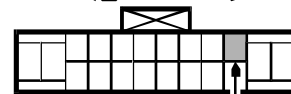
ホーン(緑)
赤

❶ IHCCとNAV無し車
コラムカバー内上側
白色5Pカブラ



ホーン(緑)
赤

右サイドヒューズBOXの上側奥中継
白色20Pカブラ



❶ バックドア以外の、全ドアの開閉を検出。
❶ セキュリティー機能等を使用しない場合のみ、こちらに接続する。

ドア(紫or白/黒)
赤

キーシリンダ右上側のイモビアンプレユニット裏側
緑色7Pカブラ

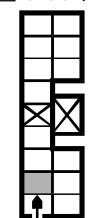
H-2イモビ対応ユニット
7Pコネクタを割込接続

イモビアンプレユニット裏側
緑色7Pカブラ



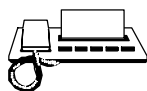
Pブレーキ(橙)
橙

右サイドヒューズBOX正面
緑色14Pカブラ



バックドア(白/黒)
青

❶ バックドアの開検出を行う場合に配線する。ドア検出ユニット(別売)が必要です。



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成17年 6月23日 作成
平成20年 7月17日 更新

BOX No.137004

車両情報

ホンダ ステップワゴン

平成17年5月～

RG#系

2 / 3 ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. 多重通信用ドアロックリレー (EP074)

① 注意事項 (セキュリティアラーム付き車)

セキュリティアラームの設定変更について

- セキュリティアラーム (盗難警報装置) 付きの車両があります。…車両出荷時 (新車状態) は、セキュリティアラームが「作動」するようになっています。
- エンジンスターターを取り付けする場合は、必ずホンダディーラーにてセキュリティアラームを「非作動」に設定する作業が必要です。(ホンダディーラーに依頼してください)
- セキュリティアラームを「非作動」に設定すると、車両のキーレスエントリー等でロック操作を行っても、メーター内上側のセキュリティ作動表示灯 (赤色のランプ) は消灯したままになります。…車両のセキュリティアラームは作動しなくなります。
- なお、セキュリティアラームを「非作動」に設定せずに車両のセキュリティアラームがセットされた状態 (セキュリティ作動表示灯が点滅している) で、エンジンスターターで始動すると、車両のセキュリティアラームが作動して警報のホーンが鳴り続けます。…警報を止めるには、車両のキーレスエントリー等でアンロック操作をしてください。

① 特有の注意事項 (使用できない機能等について)

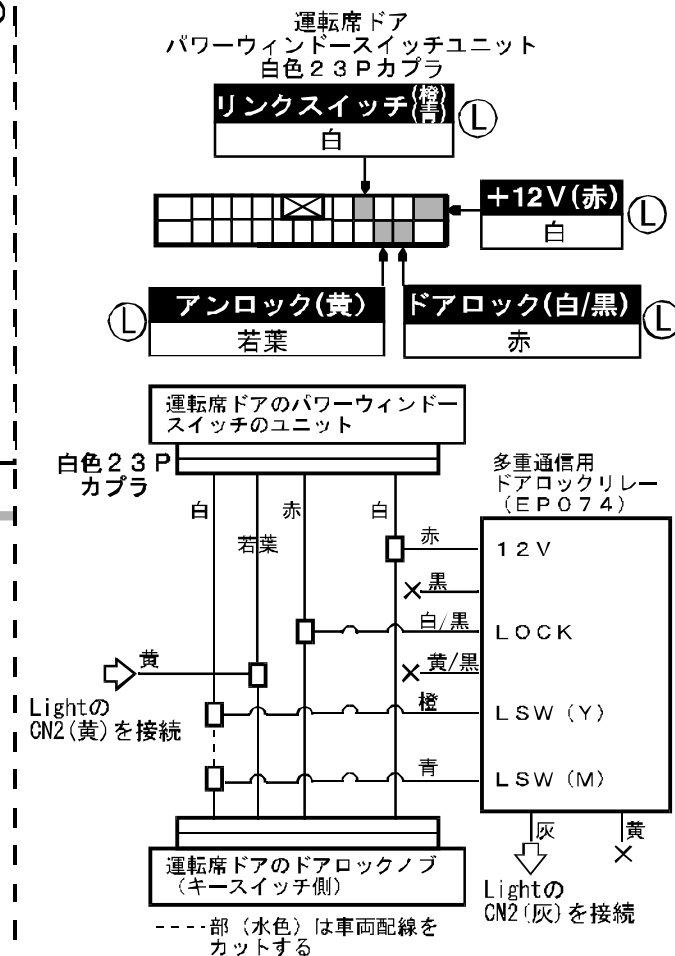
- セキュリティ機能をセットしてあるとき、エンジンスターターによるアイドリング中に、車両のスマートキーシステム等でアンロックを行うと、セキュリティが作動するので注意してください。…セキュリティが作動しても、異常ではありません。
- エンジンスターターのリモコン操作でドアロックを行った場合には、車両のセキュリティアラームはセットされません。(警戒状態にはなりません)
- エンジンスターターでアイドリング中は、純正キーレスエントリーでのドアロック/アンロックは作動しません。…エンジンを止めてから、操作してください。なお、スマートキーシステムの操作による、ドアロック/アンロックは、アイドリング中でも作動します。(アイドリング中は、エンジンノイズ等の影響により、スマートキーの認識感度が悪くなり、作動しない場合もあります)

① ドアロック/アンロックの配線は、運転席ドアのパワーウィンドウスイッチユニットのカプラに行います。別売の多重通信用ドアロックリレー (EP074) が必要です。

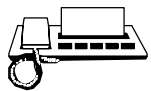
配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

ドアロック・アンロック



① 多重通信用ドアロックリレーの黒色、黄/黒色、黄色の3本の配線は、どこにも接続せずに、絶縁処理してください。



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成17年 6月23日 作成
平成20年 7月17日 更新

BOX No.137004

車両情報

ホンダ ステップワゴン

平成17年5月～

RG#系

3/3ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. 多重通信用ドアロックリレー (EP074)

❶ セキュリティ機能等を使用する場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ (商品コード: EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の5箇所に分岐接続してください。

❶ 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

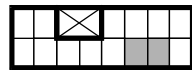
- ※CN2のドア検出配線を、本ページで指定された5箇所に接続してください。
- ※ドア検出配線を、1/3ページの場所に接続された場合、それぞれ以下の機能が使用できません。
 - ①オートロック機能が、使用できません。…機能が作動しないため。
 - ②セキュリティ機能が、使用できません。…アイドリング停止時に車両の照明が点灯して、セキュリティが作動してしまうため。

❶ ヒューズBOX裏側への配線方法

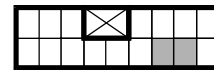
- ※あらかじめ、1/3ページで指示したカバー類を全て外しておく。
- ①ヒューズBOX下側のボルトを外す。
- ②表左上側にある集中カプラ2個と、中央手前付近にある太いハーネスのカプラ1個と、正面の緑色カプラ2個を外す。
- ③ヒューズBOX周囲のフックの固定 (数箇所) を外す。
- ④左奥上側の引っかけを外して、ヒューズBOXを右サイドから浮かせて、裏側のカプラが確認できるようにする。
- ⑤裏側2段目のカプラ3個を外して手前に引き出し、それぞれの配線を接続する。(5箇所)
- ※接続が終了したら、外したカプラをそれぞれ元の通りに接続して、復元する。



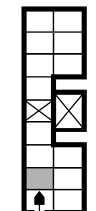
ヒューズBOX裏側
2段目の手前から3番目
若葉色14Pカプラ



ヒューズBOX裏側
2段目の手前から2番目
若葉色16Pカプラ



ヒューズBOX正面上側
緑色14Pカプラ



配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色

(L) 助手席ドア(白/黒)
空色

(L) 左後ろドア(白/黒)
若葉

(L) 右後ろドア(白/黒)
青

(L) 運転席ドア(白/黒)
赤

(L) バックドア(白/黒)
青

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



- ❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、**Ⓥ**の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

- ②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

- ②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

- ③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。